

【出題の意図】

〔一〕〈出典〉平山 郁夫 著 『絵と心』より「絵描きというもの」抜粋

1998年11月3日 読売新聞社 発行 引用範囲 p.3～p.8

問一 基本的な漢字の書き取りが正確にできるか。

問二 文章の展開に沿って、適切な接続語を当てはめることができるか。

問三～問八 傍線部の重要語句について、設問に応じて文章中から適切な語句を抜き出した
り、理由をまとめたりすることができるか。

問九 文章の内容と合致している文と誤っている文とを区別して見つけ出すことができるか。

〔二〕〈出典〉山鳥 重 著 『わかる』とはどういうことか ―認識の脳科学』より

□ 絶えず心を満たしているもの」全文

2002年4月20日 株式会社筑摩書房 発行 引用範囲 p.2～p.6

問一 基本的な漢字の読み方が正確にできるか。

問二 文章中の重要語句二つを、日常の具体的な行動や心理に当てはめて実感できるか。

問三 繰り返し表現されている重要語句を説明と関連させることができるか。

問四～問六 傍線部の重要語句について、設問に応じて適切に答えたり、文章中から抜き出したりすることができるか。

問七 筆者の結論部分を、意図を変えずに適切にまとめることができる。

〔三〕日常よく使われることわざや故事成語 及び誤った解釈をされがちなことわざや故事成語の意味を正しく見つけることができる。

二〇二五年度入学者 聖霊女子短期大学 一般選抜（一般Ⅰ期）試験問題
【現代の国語、言語文化】

※解答は、全て解答用紙に記入すること。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

「二」 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましたは

著作権の都合により公開できません。

問一 ― 線部 a、e のカタカナを、漢字に直しなさい。
a リユウイキ b ガイネン c ヘイサ d ケツシヨウ e チセツ

問二 空欄 A、D に入る適切な言葉を、次から選び記号で答えよ。
ア しかも イ あるいは ウ 例えば エ ところで オ かし

問三 ― 線部① 「ラスコーの洞窟画」について、筆者はどんな絵画だと評価しているか。文章中から十五字で抜き出して答えよ。(読占含む)

問四 ― 線部② 「一大革命」とは何か。文章中から四字で抜き出して答えよ。

問五 ― 線部③ 「なぜ動物を描いたのか」とあるが、その理由は何か。適切な部分を文章中から三十五字以内で抜き出して答えよ。

問六 ― 線部④ 「困難をおして動物の絵を描いた」とあるが、それが出来たのはなぜか。その理由を答えよ。

問七 ― 線部⑤ 「洞窟画の写実のすばらしさは、そこから生まれている。」とあるが、「そこ」とは何を指すか。文章中から抜き出して答えよ。

問八 〳〵線部「絵画の原点」とは何か。文章中から適切な部分を二カ所抜き出して答えよ。

問九 この文章の内容と合致している文を次から二つ選び、記号で答えよ。

ア ラスコーやアルタミラの洞窟画は、旧石器時代の昔の人間が、単なる一つのコミュニケーションの手段として残したもので、幼稚な書きぶりは否定できない。

イ ラスコーやアルタミラの洞窟画の発見は、旧石器時代の人間が、絵を描くことの原点を如実に示してくれた。

ウ ラスコーやアルタミラの洞窟画からは、当時の生活の一部始終を垣間見ることができているが、絵の具や筆などの用具などが充分でなく、見る者にインパクトを与えるにはやや難がある。

エ ラスコーの洞窟には、天井にも動物の絵が描かれており、足場を組んで描き上げた痕跡が残っていた。

オ どんな過酷な環境にあっても、彼らは生きていくための手段として、命がけで真剣に生き物たちの生態を観察し、それを記録として残すことを見る人間に感動を与えたのである。

カ 今から一万年数千年も前に描かれた多くの洞窟画が大革命であった点は、二次元のもの三次元に置き換え、平面を立体的に表現しているというところにある。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては

著作権の都合により公開できません。

問一 ―線部 a、e の漢字に、読み仮名を付けなさい。

- a 憂鬱 b 賢い c 暴露 d 万人 e 嗅覚

問二 次のア、オの例文を読み、感情を表している場合はA、思考を表している場合はB、と答えよ。

ア デパ地下には、おいしいものがたくさんある。

イ お菓子の袋に入っているこの乾燥剤は、食べられないんだよ。

ウ 大きなハチが飛んでいたので、付近に巣がないか探した。

エ アユの放流した子どもたちが、「大きくなってね」と楽しそうに話していた。

オ 明日から仕事が始まると思うと、なんとなく気が重い。

問三 「一・二」に、それぞれ当てはまる二字の熟語を文章中から探し、答えよ。

問四 ―線部①「スージーにお金をやって、この宿題をやらせよう」とカルビンは考えたが、カルビンが考えた部分をもう一カ所抜き出して答えよ。

問五 ―線部②「思考の単位になっている心像とはいったい何なのでしょうか？」とあるが、この問いについての答えを、「心像とは」に続けて簡潔に答えよ。

問六 ―線部③「凶像」とは何か、簡潔に答えよ。

問七 ―線部④「太陽が東から昇り、西へ沈む」ことを例として、筆者は結論を述べている。筆者の考え方に沿うように、「事実」と「心像」の二つの語句を必ず使って六十字以内でまとめよ。(指定した二語は複数回使用してよい)

【三】次の①～⑩の故事成語の意味を後から選び、記号で答えよ。

- ① 覆水盆に返らず ふくすい
- ② 暖簾に腕押し のれん
- ③ 情けは人のためならず
- ④ ミイラ取りがミイラになる
- ⑤ 瓢箪から駒が出る ひょうたん
- ⑥ 馬子にも衣装 まじ
- ⑦ 論語読みの論語知らず ろんご
- ⑧ 李下に冠を正さず りか かんむり
- ⑨ 窮鼠猫をかむ けつしつ ね
- ⑩ 魚心あれば水心 いさなこころあればみづこころ

ア 人に親切にしておけば、巡り巡って、やがては自分にもよい報いとなって帰ってくること。

イ 意外なものから思いもかけないものが出てくること。

ウ 表面的には理解していても、理解したことを実行しないこと。

エ 相手が好意をもてば、こちらも好意をもつようになること。

オ 一度してしまったことは、もう取り返しがつかないこと。

カ 相手を説得しに行ったのに、逆に相手に説得されてしまうこと。

キ 絶体絶命の危機に追い詰められた弱者が、必死になって強者を倒してしまうこと。

ク つまらぬ者でも外形を飾れば、立派に見えること。

ケ 他人に疑われるような行為はするべきではないということ。

コ 何の手応えもないこと、張り合いのないこと。

●現代の国語・言語文化 〈配点100点〉

〔一〕 40点

問一 a 流域 b 概念 c 閉鎖 d 結晶 e 稚拙 (2点×5)

問二 Aエ Bイ Cオ Dア (2点×4)

問三 躍動感あふれる、すばらしい絵画 (2点)

問四 火を発見 (2点)

問五 当時の人間にとって、生きていくために動物が最も重要なものであったから。 (2点)

問六 動物という自然の恵みに対する祈りであり、自分たちの種族に捕獲の対象となる動物群の形や性質を教え、伝えるため (3点)

問七 生きている動物を人間の感覚だけでつかまえた正確さ (3点)

問八 ・この動物をとらえなければ、自分たちは死ぬしかない
・生きんがために描くのだ (3点×2)

問九 イ・オ (2点×2)

〔二〕 40点

問一 a ゆううつ b かしこい c ばくろ

d ばんにん (まんにんも可) e きゅうかく (2点×5)

問二 ア A イ B ウ B エ B オ A (2点×5)

問三 I 思考 II 心像 (3点×2)

問四 「宿題が無事出来上がった状態」 (3点)

問五 心像とは、心に思い浮かべることが出来るすべての現象 (3点)

(心像とは、心理的イメージも可)

問六 イメージ (形あるものも可) (3点)

問七 「太陽が昇る・沈む」という現象は、地球が自転するという

事実があるが、心像化して捉えることで思考を豊かにする

ことができる。(8字) (5点)

〔三〕 20点

① オ ② コ ③ ア ④ カ ⑤ イ

⑥ ク ⑦ ウ ⑧ ケ ⑨ キ ⑩ エ

(2点×10)